

四貫島 中井 和子さん



長年にわたり地域のために尽力されている中井さんにインタビューしました。

Q, もう今年で定年とお聞きしましたが。

A, はい、民生委員は今年で定年です。

Q, 民生委員以外にも、いろいろな活動をされているそうですね。

A, 民生委員になる前から地域や様々な活動に興味を持って関わってきました。ずいぶん前から、此花区郷土史研究会に参加しています。その月の活動予定の記事を書いて、広報「このはな」に載せています。

Q, 他にも何かされていますか。

A, 神谷和代さんの後を受けて、此花区更生保護女性会の会長として、交野女子学院という少年院の訪問などをしています。今年はこちらのボタンのブローチを作ってプレゼントしました。男性の更生保護の和衷会へも訪問して、衣類やタオルなどを寄付しています。また、生涯学習ルームができた時から、推進委員として参加しています。

Q, お好きなことはありますか。

A, 叔母が生け花の先生だったので、お花が好きです。庭には花をたくさん植えています。人と話すことも好きでいろんなことに参加しています。

とても明るく笑顔で楽しくお話してくださいました。いつも誰にでも優しく接していて穏やかな人柄の中井さん。長い間お疲れ様でした。これからも地域を温かく見守ってください。

レポーター 影山 淳子

高見 見澤 好美さん



長年、編集委員会に関われ11月末で退任される見澤さんにインタビューをしました。

Q, 24年間の民生委員活動で一番の思い出は何ですか
A, やはり「民生レター ちゅーりっぷの風」を立ち上げから関わらせていただいたことですね。

7名でスタートしました。新聞の題字のネーミングや文字のスタイル等を皆であれこれ考え、区の花のチューリップとさわやかな風のように情報を民生委員さんにお届けするという思いから「民生レター ちゅーりっぷの風」とすんなり決めました。次はパソコンに熟知されている方から紙面作りの特訓を受けました。10年前から「編集長」のソフトを使っていますが、最初は「Word」での作業でとても手間がかかりました。紙面作りの当番になれば一人で1面から4面まで全てをまかされ、仕上げまで大変な作業でした。でも、しんどいと感じる気持ちは無く楽しかったので毎日パソコンに熱中していました。印刷に出し完成した新聞を見た時の達成感は特別なものでしたね。

Q, 趣味は何ですか

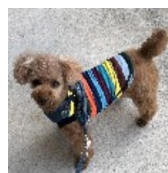
A, 水彩画を習っています。しかしコロナの為、教室は閉鎖されました。今は家で絵を描き、描きあげた作品を教室で教えて頂いていた先生にパソコンで送り、添削した作品を送り返して下さいます。この習い方は今の時代の方法なのでしょうが、教室で皆さんとおしゃべりしながら描く方が何倍も楽しいですね。健康維持のため、太極拳やウォーキングを続けています。いつまでも心も体も元気でいたいものですね。

24年間お疲れさまでした。これからも健康に気を付けてお過ごし下さい。私たちは「ちゅーりっぷの風」をつなげていくように頑張ります。

レポーター 小池 幸枝

かわいい家族

こんにちは！保護犬で元繁殖犬・推定7歳のUTA(詩)です。昨年秋に枚方の保護施設から来ました。最初は慣れないことばかりでしたが、今では散歩もごはんも大好きで、抱っこされると寝てしまうかわいい仔です。先住犬も保護犬で、幸せにと里親になったはずが、幸せを貰ったのは私たち家族でした。朝夕に地区を散歩していますので、見かけたら声をかけてください。ペットを飼うときには、ぜひ保護犬を選択肢に入れてください。梅香 津村 こそえ



編集後記 今期の編集委員メンバーによる最後の「ちゅーりっぷの風」の発行となりました。コロナ禍で編集作業が困難な中、委員の皆様には大変お世話になりました。ご愛読ありがとうございました。石橋 洋一